

「国民連合政府」実現訴え

名古屋 本村衆院議員

日本共産党が提案し、進行されても、「憲法改正法」の法律は早く廃止を「政府」の呼びかけの国民の運動は続いで一刻も早く知らせようといふと述べ、「日本共産党は多くの国民の声を心え、戦争法廃止の閣議決定を撤回させるため国民連合政府を呼びかけます」と訴え、



「戦争法廃止の国民連合政府」について訴える（左から）田口、本村、さばし、柴田の各氏=20日、名古屋市

青森 高橋衆院議員

日本共産党の高橋千鶴子衆院議員は21日、青森市で、すむ益一、藤田長と街頭演説を行い、「戦争法廃止、立憲主義を取り戻す」の一点で共同する「国民連合政府」の実現を呼びかけました。

高橋議員は、18日未明、若者を先頭に多くの国民が国会前で声を上げる中で、安倍自公政権が戦争法を強行成立させたことを怒りを込めて批判し、日本共産党は既に「国民連合政府」を呼びかけたこと報告。国会で野党議員会談を組織し、内閣不信任決議案を出す中で、次の共同も確認してきたと表示し、国会内外で力を合わせてきたことを確信し、運動を発展させ国民連合政府を実現させようと呼びかけました。

賛成議員は一掃を

さいたま「オール岩槻」250人

戦争法の廃止を求める「戦争させない、9条を守ろうなオール岩槻」が、さいたま市岩槻区の東武岩槻駅前で行われ、約250人が参加しました。市民団体のメンバーや有識者、市議など党派を超えた市民82人が呼びかけ人になって実施したものです。

参加者は「戦争させない」「国民をなめるな」などのプラカードを掲げ、リレートークでは弁護士や高校教員が提唱した「国民連合政府」の実現を訴えました。

青年有志がキャラバン

長野「ぼくしゅけい伊那谷」

長野県の上伊那郡伊那町の青年有志でつくる「ぼくしゅけい伊那谷」が20日、戦争法反対のキャラバン宣伝を行いました。

午前11時半から飯田市で宣伝した後、自家用車2台に分乗し、6自治体7カ所をリレートーク、スタンディングなどアピールしました。初めてマイクを握った



地方の方が持参した横断幕も掲げてリレートークした。20日、長野県飯島町

戦争法廃止へ次々

飛び入り参加の青年（29）は、「強行採決は許さない。戦争法反対」という自分の意思を示すためにごみ袋を手に、友人に見せるといふと語り、4カ所に参加しました。

駒ヶ根市の宣伝で「なんでもなんに願います。」と話題になっている。リレートークで、一人ひとりの思いを聞けてよかったと、ぼくしゅけいのメンバーになりました。伊那市の宣伝でも

長野 60自治体で意見書

政府・与党によって強行採決された戦争法に抗議し、同法案の委員会に対し、長野県内77自治体のうち60市町村が「廃案」「慎重審議」を求め、意見書を全会一致で可決しました。

6月議会では「慎重審議」意見書を可決した議会が、9月議会でも可決しました。長野県では17市、高山村は11日、長和町は8月31日、可決しました。

- 可決した自治体は、
- 松本市、飯田市、中曲海井、須坂市、小諸市、伊那市、千小、野市、飯山市、佐久市、軽井、東御市、安曇野市、南、沢町、御代田町、立科町、和町、青木村、下諏訪町、土俵町、辰野町、箕輪村、箕輪村、中川村、阿南町、阿智村、大鹿村、上松町、南木曾町、木曾町、木祖村、王滝村、大桑村、麻績村、生坂村、山形村、朝日村、筑北村、池田町、松川村、白馬村、小谷村、城町、小布施町、高山村、ノ内町、木島平村、野沢温泉村、信濃町、飯綱町、小川村、栄村。

各団体が抗議声明

自民・公明両党などが戦争法を強行成立させたことに対する抗議の声明や談話が各団体から引き続き出ています。いずれも強行採決を厳しく抗議することを、廃案を求め、以下の通り。（順不同）

- 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）
- 中央社会保険推進協議会
- 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟
- 日本民主法律家協会
- 日本中国友好協会
- 日本宗教者平和協議会
- 日本キリスト者平和の会
- 全日本建設交通一般労働組合

フェイスブックで知った若い女性が家族と友人の6人で参加、「何かしなくちゃいけないと思っていた」と語り、「いっしょにやりますよ」と仲間になりました。

参加した会社員の女性（32）は、黙っていたアベの思つぽ。戦争法はおかしいと声をあげつつある。この企画で新しい仲間が増えてうれしく語りました。

9/22 坂